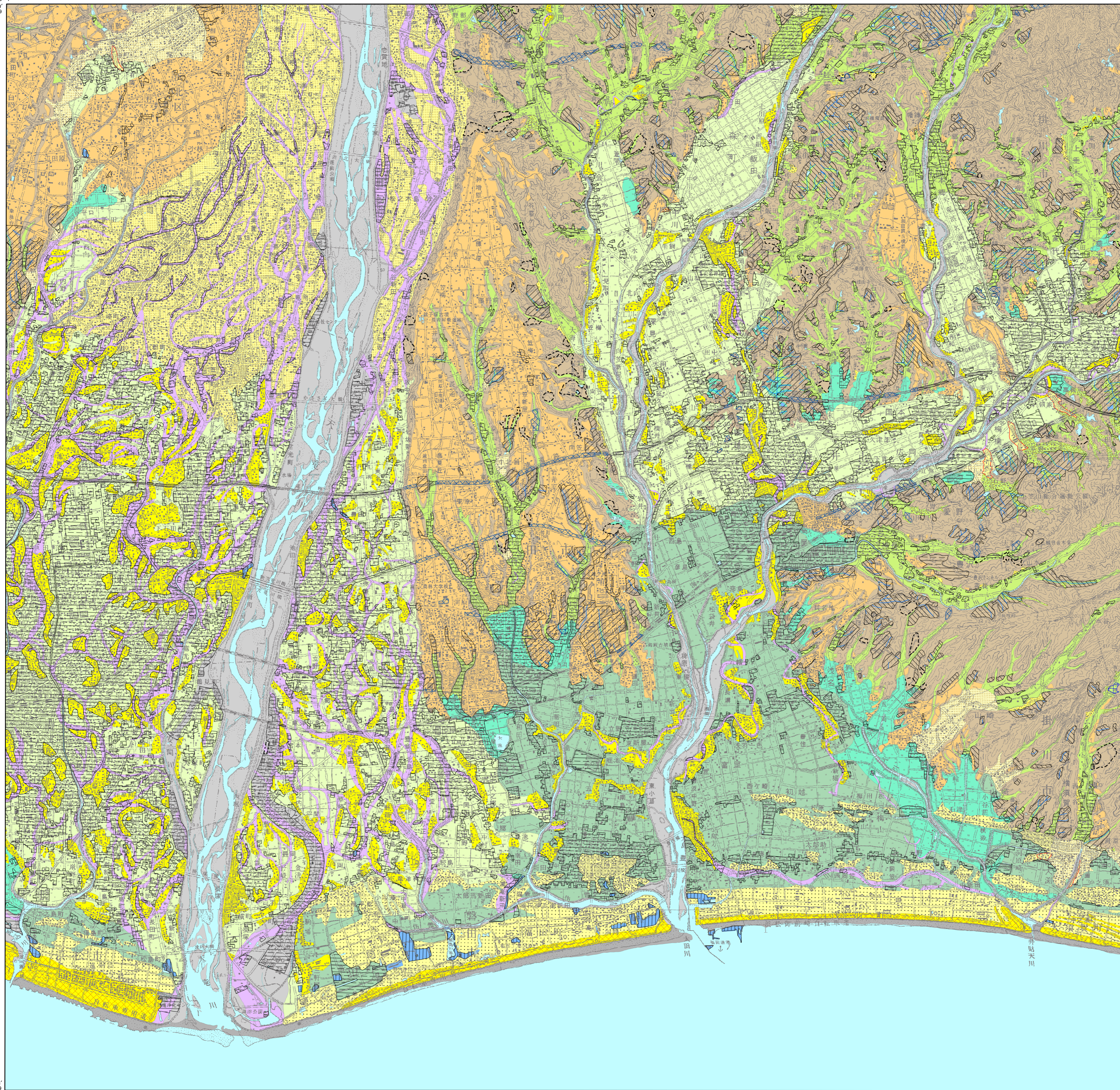


平成二十四年度調査

平成二十五年三月発行

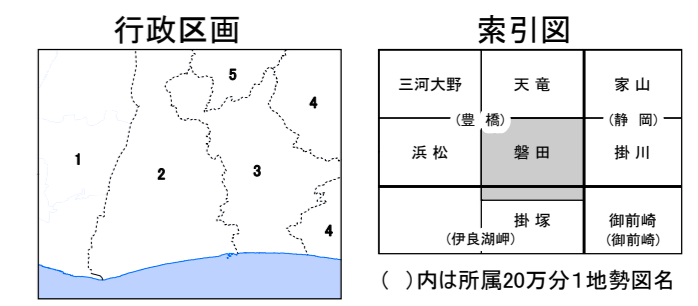
国土交通省 国土政策局



- 人工地形分類 Artificial Landform**
- 人工平坦地(切り盛り)造成地(Artificial ground (cut and fill))
 - 宅地等 Flatland for residential use
 - 農地等 Flatland for agricultural use
 - 改良工事中の区域 Area under modification
 - 盛土地 Fill-up land
 - 埋立地 Reclaimed land
 - 干拓地 Drained land
 - 切土地 Out slope
 - 人工水面 Artificial water surface
 - 旧谷線 Buried valley
- 自然地形分類 Natural landform**
- 山地 Mountains**
- 山地斜面等 Mountain slopes
 - 崩斜面及び崖壁 Colluvial slope or Talus
 - 土石流堆積地 Depositional landform formed by debris flow
- 台地 Terraces and upland**
- 砂礫台地(更新世段丘) Gravel terrace (Pleistocene terrace)
 - 砂礫台地(完新世段丘) Gravel terrace (Alluvial terrace)
- 低地 Lowland**
- 緩斜状地 Gentle alluvial fan
 - 扇状地 Alluvial fan
 - 谷底低地 Valley bottom
 - 氾濫原低地 Flood plain (back marsh)
 - 自然堤防 Natural levee
 - 旧河道 Abandoned channel
 - 湿地 Wetland
 - 三角洲・海岸低地 Delta or Coastal lowland
 - 砂州・砂堆(礫州・礫堆) Sand bar
 - 砂丘 Sand dune
 - 天井川及び天井川沿いの微高地 Raised bed river
 - 河原・河川敷 Dry river bed
 - 浜 Beach
 - 水部 Water
 - 現水部 Recent water surface
 - 旧水部 Former water surface
- 副分類 Subdivision of Natural landform**
- 崖 Cliff
 - 凹地・浅い谷 Shallow valley on terrace or alluvial fan

摘要

- 経緯度の基準は世界測地系
- 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
- 作業機関 国際航業株式会社
- 背景地図 数値地図50000(地図画像) 磐田 平成20年修正 掛塚 平成3年修正
- 対応する二次メッシュコード 513776, 513777, 523706, 523707, 523716, 523717



静岡県
1.浜松市 2.磐田市 3.袋井市 4.掛川市
5.周智郡

1:50,000 磐田・掛塚

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第534号)」

- 自然地形分類は1:25000土地条件図「磐田」(国土地理院 1982)を基礎資料として編集したものである。編集にあたっては、以下の発行資料を参考に空中写真の補正判読により修正を行った。5万分の1土地分類基本調査(地形分類図)「磐田・掛塚」(経済企画庁, 1965)判読に使用した空中写真には12-6-3(現) (昭和21.5.22 米軍撮影)、M191-A-5(昭和21.7.11 米軍撮影)、M192-A-5(昭和21.7.13 米軍撮影)、M197-A-3(昭和21.7.16 米軍撮影)、M23-A-3(昭和21.9.21 米軍撮影)、M200-A-3(イ) (昭和21.10.27 米軍撮影)、M751(昭和23.1.22 米軍撮影)。
- 人工地形分類図は2万5千分の1地形図「山梨」(平成19年更新)「袋井」(平成19年更新)「笠井」(平成19年更新)「磐田」(平成19年更新)、「掛塚」(平成19年更新)の読図、及び空中写真(CCB-2001-1X国土地理院撮影)の判読により作成したもので、基本的には平成13年時点の地形の状況を反映している。
- 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成21年発行、「掛塚」(平成3年修正)、「磐田」(平成20年修正)。
- 自然地形分類の現水部については、基礎地図情報の水涯線及び海洋線データ(2008年6月3日公開)を参考にして作成した。
- 本図の作成にあたっては、奈良大学の海洋正倫教授、南山大学の藤本 潔教授、名古屋大学の堀 和明准教授の指導をいただいた。